



(岩手日日)

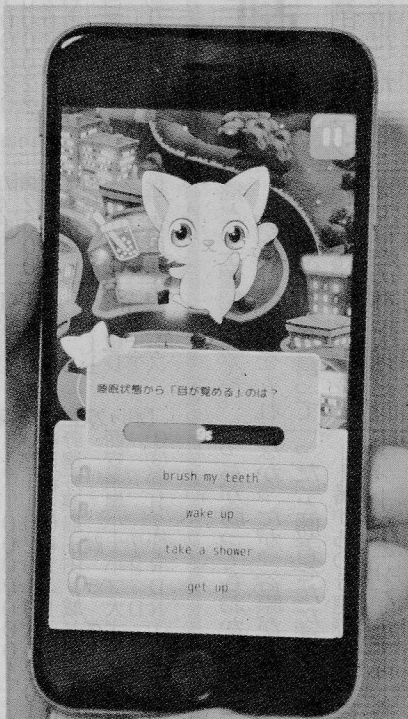
北上市和賀町藤根のGOES合同会社は、初の自社製スマートフォン用アプリ「クイズ脳辞書アプリ NoDictionary!」の提供を開始した。iOS端末向けで、英語圏での日常生活で実際に役立つ単語と成句を学べるクイズゲーム。親しみやすさを重視した構成で、最高経営責任者の千葉涼介さん(24)は「勉強の概念を離れて英語で楽しく遊んでほしい」と呼び掛けている。

利用者はゲーム上の都市で案内役のキャラクターと一緒に英語の4択クイズに挑戦する。出題される単語・成句は全部で1万弱。無料で遊べる12ステージが目玉で、家庭や病院など場別に問題を設けた。

開発のきっかけは、米国の留学した際にぶつかった「言葉の壁」。もともと英語の勉強は苦手だったが、身の周りにある物、日常の動作などを言い表せず、会話に苦労した。この経験か

実用英語、クイズで学ぼう

GOES スマホ用アプリ提供



GOESが提供しているゲームアプリ「クイズ脳辞書アプリ NoDictionary!」のプレー画面

中学生向け有料コンテンツも

から実用的な英単語を楽しく覚えられるようにと、学校の授業で取り上げられにくい内容を厳選。20冊以上の単語帳を参照した上で、専門家へ正答文を外注した。有料コンテンツも用意し、さらなる学びの意欲に

育英語に特化した中学生向けの英単語ステージ(120円)もある。

利用者の反応を見ながら、キャラクターを追加するなど娯楽性を含め、バージョンアップしていく予定。

語学に必要な「書く」「聞く」の段階で1回づつま

も応える。アイテムのメモ帳(240円)を購入すると、出題された単語・成句の正答と和訳を確認でき、正解履歴を分野別にリスト化し、苦手な部分を一目で把握することもできる。教

「能力を高める機能を加え、Android端末へ対応も目指す。」

同社は北上出身の千葉さんが2014年に創業。ゲームアプリを手掛ける県内企業は珍しく、海外メーカ

「英語が必要になる世代が増え続ける一方、習得の段階で1回づつま

1との開発、外国語コミュニケーション分野の開拓など、今回培った経験を今後の事業展開の核にしたいと考えて。

千葉さんは「英語が必要になる世代が増え続ける一方、習得の段階で1回づつま

北上発